

令和 8 年度における主な事業（案）

1 公共交通活性化事業 …………… 78,459 千円

【新規】みんなで創る市民にやさしい公共交通推進プロジェクト（53,000 千円）

・ 公共交通お出かけ支援実証事業（30,000 千円）

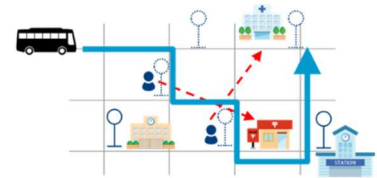
市内公共交通機関で利用できる割引券の配布や、交通事業者が販売する 65 歳以上高齢者乗り放題パスの割引率引き上げを行う。

・ 次世代公共交通トライアルプロジェクト（15,000 千円）

交通事業者に対し、次世代 EV バスや AI オンデマンドバスといった次世代公共交通へのトライアルを支援する。

① 次世代 EV バスの 1 か月運行

② 路線バスの日中時間帯の AI オンデマンド化の実証実験



・ 市民にやさしい公共交通のあり方検討事業（8,000 千円）

有識者、交通事業者、各種団体代表らとともに、行政が主体となって、路線バス等の再構築の実現に向けたデータ収集・分析、ロードマップ作成や運行事業の共同化・協業化に向けて検討を行う。



次世代バス（イメージ）

・ 地域の足を考えるプロジェクト（ゼロ予算事業）

市と民間事業者が連携し、地域住民等を対象としたワークショップを開催する。

2 万葉線関連事業 …………… 130,265 千円

万葉線の利用促進や安全・安心な運行に向けて、レールの更新や車両の修繕等の快適性や安全性を高めるための支援を行う。

(1) 万葉線再生事業（68,815 千円）

レール重軌条化や車庫の増設、踏切制御機器の更新等に係る支援を行う。

(2) 万葉線利用促進事業〈連携事業〉（61,450 千円）

車両検査、安全対策、IC の保守、老朽化した鉄軌道施設や車両の更新に係る調査・検討を行う。

3 新高岡駅利用促進事業 …………… 6,000 千円

新高岡駅の利用促進に向け、新幹線まちづくり推進高岡市民会議や新幹線で通学する学生に対して支援する。



(W7 系)

4 市民協働型地域交通システム推進事業 …………… 13,900 千円

地域が主体となった市民協働型地域交通システムの導入に取り組む地域に対し、導入に向けた調査・検討から実証運行及び本格運行までの、段階に応じた支援を行う。

5 城端線・氷見線活性化調査等事業 …………… 15,600 千円

県、沿線市とともに城端線・氷見線の再構築に向けた調査を実施する。